

令和7年度前期学校評価アンケート【保護者】自由記述欄に記入いただいたご意見等

先日の保護者会はありがとうございました。先生方が丁寧に検証してくださり、それを報告いただき感謝申し上げます。お時間をとっていただきありがとうございました。

こちらこそご参加いただきありがとうございました。ご心配をおかけしましたことをお詫び致します。

アンケートを答えるにあたり、先生方の日頃の教育指導や生徒指導の実際がわからないので、答えるのが難しいです。特に11~13はよく分かりません。

答えるのが難しい設問がある中、誠実にご回答いただきましたことに御礼申し上げます。回答の選択肢につきましては、「わからない」をあえて入れておりません。アンケートの性質上、感じておられる印象で一番近いものを選んでいただくことは致し方ないことかと思いますので、引き続きご協力を願いいたします。可能な限り、お答えのしやすい設問と選択肢となるように見直しも進めて参ります。また、答えにくい設問につきましてはお子様との会話の材料にしていただくことにより、実際がなんとなく見えてくることもあるかと思います。時折、話題にしていただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

"いつもありがとうございます。

こちらこそいつもご理解とご協力を賜りありがとうございます。

"いつもありがとうございます。

おかげさまで忙しそうにしながらも、自分であれやこれやと考えながら楽しそうに中学生生活を満喫しているように思います。たくさんの先生方が見てくださっていることがいい影響を与えてくれているんだな、と日々感謝しています。

背中を押していただけるお言葉をいただき大変感謝しております。さらに充実した中学生活を送っていただけるよう、そして、「楽しそうに中学生生活を満喫している」生徒がさらに増えるよう取り組んで参ります。

お互いを尊重しあって生活ができるのであれば何よりだと感じていますが、一方で、LINEなどのトラブルについて子どもから聞く限り、小学校の頃から問題を起こしている子が同じであることに愕然とした気持ちにもなっています。これからも不常に傷つけられる子が出ないように、と願っています。また、あらゆる国籍の子どもたちが怯えることなく、これからも安心して学校に通えるように、ウェルカムな雰囲気が漂う中学校でこれらもあってほしいな、と思います。

保護者として、そして、大人としての願いを記載いただきありがとうございます。子どもを取り巻く環境だけでなく、大人の社会においても様々なトラブルが存在します。

子どもたちはトラブルを解決しながら成長していくという側面もありますし、私たち大人が子どもたちのトラブルをゼロにすることは実際には不可能です。しかし、トラブルを見逃さず、子どもたちの成長につなげていくことには全力を尽くしていくことが私たちの役割であると考えております。お子たちの変化を見取ることができるよう誠実に生徒たちと関わっていく所存です。保護者の皆様にはご家庭の様子の変化等を見守っていただき、学校とご家庭とが連携して対応していくことができれば幸いだと考えております。よろしくお願ひいたします。

"学校に行くのが楽しいと言っております。

安心して通える学校づくりをして頂き、ありがとうございます。"

"荷物の置き場が足りていない。

宿題が少ないような気がします…。

力の出るお言葉ありがとうございます。荷物の置き場については、妙案がすぐには浮かびません。他校に良いアイデアがないか等を探ってみたいと思います。宿題につきましては、小学校時のような出し方はしていません。一定のスパンで提出を求めたり、ドリルパーク等を活用して自主的に進めることを指導したりと、私たちもどのようにすれば「主体的に取り組む姿を具現化できるのか」と試行錯誤しているのが実情です。宿題は、「提出することが目的」となってしまうことがほとんどで、あまり効果的でないと言われたりもします。しかし、「何をしていいのかわからない」という生徒がいることも事実です。これからも学習の進め方や内容などを助言しつつ、時には課題も出しながら、取り組んで参りたいと考えています。ご家庭でのご指導もあわせ、ご理解ご協力をお願ひいたします。

学校で違う学年の生徒さん（私と面識のない生徒さん）とすれ違う時、何人もにっこり挨拶してくれ、ステキな学校だなと思いました。

『ステキな学校』という、私たちがいちばん聞きたいと思うといつても過言ではない言葉をいただき、本当に嬉しいです。生徒たちにもそのように感じていただいている保護者の方がいらっしゃることを伝え、もっと多くの人にそう思ってもらえるように励ましたいと思います。ありがとうございました。

"勉強が苦手な子、提出物が出せない子、自分から動き出せない子へのサポートをしてほしい。笑顔や元気が減っていき、うまく言葉には出来ない苦しさを抱えているようにみえる。自分の想いや考えをありのままに安心して話せる場や人があつてほしいと願う。早い段階でスクールカウンセラーの先生に話せると良いと思いますが、子供自らスクールカウンセラーの先生の所に行くのは難しいように感じます。"

ご不安を与えてしまっているのであれば、申し訳ございません。心が痛む思いでご意見を読ませていただきました。「笑顔や元気が減っている」ことを私たち教職員は気づくこと

ができているでしょうか。もし、気づいていないようであれば、是非、お伝え下さい。本来、保護者の方からご連絡いただかなくても私たち自身がその変化に気づくべきところではございますが、何も配慮ができていないようでしたらぜひお知らせいただきたく存じます。苦しさを感じているお子様に何かできることがないかを考えたいと思います。ご協力お願いいたします。

いつもありがとうございます

"子どもが同級生2人による暴言で悩んでいます。

もし子どもが先生に打ち明けた時は相談に乗ってほしいです。"

ご心配をおかけしすみません。悩んでいる様子が見られたら、『先生に話してみたら?』と背中を押していただいたり、直接保護者の方からご連絡いただくことも選択肢としてお考えいただくことをお願いいたします。相談があった際には、丁寧に話を聞かせていただき、力になれることも多いと思います。よろしくお願ひいたします。

今後、部活動の地域移行が進んでいくなかで、部活動の選択肢がさらに減っていく可能性があると思います。時代状況としては仕方のないことではありますが、「中学校でやりたい部活動ができない」ということが、子どもたちにとって中学校の魅力低下につながっていくのでは...という心配があります。

ご心配をおかけし申し訳ありません。部活動の地域展開は少しずつではありますが進んでおります。報道であったり、教育委員会からであったり、今後も情報が発信されていくと思います。さまざまなマイナス点が考えられることは否めませんが、自分のしたい競技が自分の中学校になくても実施可能となるといった利点もあり、マイナス面だけではないような気もします。国を挙げての大変革といっても過言ではない変革です。よりよい形に変革が進むよう中学校現場の意見も校長会等を通じて発していきたいと考えております。

昨年度まで配布されていた各教科の問題集について、特に定期テスト対策のため、やはりあった方がよいと本人が言っています。

これまで保護者の方にご負担をいただき購入しておりました問題集等ですが、全員に同一の問題集を買っていただくのが良いのかという議論はこれまでにもありました。必要と感じられているお子様には、ぜひ、一冊ご購入いただければと思います。書店で購入することにはなりますが、自分で手に取り、自分で「この問題集にしよう!」と決めて購入することで、無条件に与えられた問題集を使うよりも得るものが大きくなるような気がします。その時間こそが主体的に学びにむかう第一歩にもなるかと思いますので、ご協力ををお願いいたします。問題集選びに困りを持たれるようでしたら、教科担当にご相談いただければと思います。また、全員が取り組むことができるドリルパークについては、取り組めば取り組むほど、それぞれにあった問題を提供することを可能とします。積極的に活用いただけ

ればと思います。よろしくお願ひいたします。

お忙しい中、自由記述欄へのご記入ありがとうございました。教育活動を行うにあたり、
大いに参考にさせていただきます。

校長 上野 政弘